

生涯現役地域づくり環境整備事業 事業構想概念図

事業の趣旨・目的 フードバレーとかち ダイバーシティ人材活躍促進、就労支援マッチング事業

本事業では、地域の特色を生かした食と観光、農業、建設業、福祉関連産業などを主な対象に、シニア人材をはじめ、ひとり親など子育て世代や障がい者、一般求職者など多様な人材を「ダイバーシティ人材」として位置づけマッチングします。慢性的な人材不足解消と、生きがいややりがい、より豊かな生活を送るための収入を確保し、地元企業などへの就職や請負業務など幅広い視点でのマッチングをコーディネートし、ミスマッチを解消して、求人、求職両者の課題解決を図ります。さらに地域経済団体、経営者団体などと連携して既存の業務を見直し、ダイバーシティ人材が活躍できるよう新たな仕事づくりを行います。同時に仕事の組み直しと細分化を図り、短時間業務や比較的平易な仕事をつくり出し、モデル的にダイバーシティ人材の雇用促進を目指します。

事業内容 問題解決のための支援メニュー

実践的 短期目標 人材マッチングの実践 長期目標 意識醸成・環境づくり 基礎的	1 ダイバーシティ人材マッチングシステム構築による人材マッチング支援 ～スカウト型・オファー型人材マッチングシステム「ジョブジョブとかちダイバーシティ」構築、運用～	シニア世代を核としながら、ひとり親や障がい者、一般求職者も対象としたスカウト型人材マッチングシステムを構築し、運用を行う。多様な人材が、自身の職歴、資格、勤務条件などを匿名で公開し、地元企業へ情報配信することで、企業側からのアプローチによる面接、採用活動を行う。さらに、協議会支援員が企業側や求職者側のアドバイス役を担い、両者の条件面などの理解促進、調整の手助けとなることで、マッチング精度を高める役割を果たす。
	2 シニアを中心としたダイバーシティ人材向け企業お仕事説明会の実施	地元企業と高齢求職者やひとり親、障がい者および障がい者就労支援事業者などによる企業説明会（お仕事相談会）を実施する。複数社と複数人の求職者による合同企業説明会のようなタイプに加え、個別企業による企業見学会、企業説明会なども実施することで、求人企業と求職者間のコミュニケーションを通じたミスマッチ防止を意識した実施方法で行う。
	3 シニア世代向けインターンシップ事業の展開	企業側の「高齢者にこの業務ができるか」という不安感と、シニア世代側の「この業務は自分の体力では難しいかも」という不安感の双方の思いを解消するために、無給での半日-3日間程度の短期間、短時間のお仕事体験や、実際に有給インターンシップとして1週間程度の業務従事を行うことで、求人・求職のミスマッチ解消を図る。短時間で無給でのインターンシップ・お仕事体験や1週間程度のサイクルで働き方や自身の体力と釣り合うか見極める有給での業務従事を通じて、シニア求職者の自信や手応えや業務内容への理解を促進することで、ミスマッチの低減を図り、企業側の人材定着率のアップにもつなげていく。
	4 農福連携や就労支援事業所と連携したダイバーシティ人材の人材マッチング	知識や経験はあるが体力に不安のあるシニア人材と、体力とやる気はあるが知識や経験が不足し時には支援が必要な障がい者がそれぞれの役割分担することで、業務遂行可能となる仕組みづくりに取り組む。特に障がい者就労支援事業所と連携することで、就労支援の一環として農作業や企業からの業務を就労支援事業所が業務委託・請負で実施する形式を取りながら、その業務に事業所の利用者（障がい者）が従事することで賃金や工賃を受け取る形での就労支援へとつなげていく仕組みの構築を行う。ダイバーシティ人材がそれぞれの特性を活かしながら協力、連携し仕事に従事可能なことをモデル的に明示することで、すべての人が生涯現役で社会と関わりを持ち続けられる機運を醸成していく。
	5 企業向け、求職者向け意識改革セミナーの実施	<ul style="list-style-type: none"> ●企業向けダイバーシティ人材活用好事例セミナーの実施 企業経営者や採用担当者が高齢求職者やひとり親、障がい者等の雇用への意識醸成や社内体制整備を行える実践事例、好事例から学ぶセミナーを実施する。 ●シニア求職者向け好事例紹介、再就職準備、自己分析、創業支援セミナーの実施 シニア求職者の再就職準備にあたっての自己分析や実際に就労実態好事例などを学ぶことで、再就職への意識醸成を図る。また、昨今注目されているシニア世代の創業などの事例や注意点などプラスとマイナスの側面両方を学ぶセミナーを実施する。
	6 全方位型アナログ型就労支援メニューの拡充	生涯現役地域づくり環境整備事業の主旨を理解しつつ、地域における就労支援の仕組みは、ワンストップですべての人材を対象として、切れ目ない支援をすることで地域の雇用環境は改善し、生涯現役地域づくりの環境が整備されると考える。そこで、シニア世代、ひとり親や障がい者などの区分けを超えた、あらゆる世代や属性の人材についても本事業において就労支援を実施する。
	7 地域のダイバーシティ人材支援団体や企業団体と連携した事業展開	帯広地域雇用創出促進協議会構成団体そのものが、地域の雇用を担う企業による経済団体、シニア人材やひとり親、障がい者の就労支援を担う団体やそれらを支える行政機関等により構成されている。当協議会をプラットフォームとして、協議会事務局や職員と構成団体担当者との定期的な会議や情報交換の場を持つことで、その先にある個別企業や障がい者就労支援事業所、行政担当部署などと定期的な情報交換や情報共有、最新の動向把握を行う。

帯広地域雇用創出促進協議会とは
 帯広地域雇用創出促進協議会は、帯広・十勝で雇用機会を増やし、新たな雇用を創出するために2005年に設立。中途求職者の雇用拡大のため、厚生労働省の委託事業としてさまざまな事業を実施しました。2020年からは、人生100年時代におけるシニアの就職支援と地元企業の人材確保を目指すプロジェクトに取り組み、2023年7月より生涯現役地域づくり環境整備事業として、シニアを中心にひとり親など子育て世代、障がい者、一般求職者などの多様な人材をダイバーシティ人材として位置づけ、企業とのマッチング支援に取り組みます。

平日 9:00～18:00

登録申込
お問合せ

あらゆる人材が活躍する地域づくり

帯広地域雇用創出促進協議会

帯広市西22条北2丁目23-9(十勝産業振興センター内)

0155-67-1775

FAX.0155-67-1779 | info@jobjob-tokachi.jp

https://jobjob-tokachi.jp 帯広 生涯現役 検索



構成団体 帯広市/帯広商工会議所/一般社団法人 北海道中小企業家同友会とかち支部/公益社団法人 帯広市シルバー人材センター/社会福祉法人 帯広市社会福祉協議会
 北海道十勝総合振興局/公益財団法人 とかち財団/帯広信用金庫/十勝障がい者就業・生活支援センターだいち/一般社団法人 とかち地域活性化支援機構